

行發日十月一十年元正大

號念記年十二滿立創

號三百第 報月所議會業商宮都宇

回顧

宇都宮商業會議所の前身は商業談話會なる一團であつた。全會は市内重なる實業家から組織せられ、經濟法律の研究やら、商工業の利害得失、市の進歩發達策などいろいろ講究し裨益する所頗る多大であつた。が併し時世の進運はなかなかこれに安んずるを容るさない、全くの私團体では思ふ様に活動の出來ぬ所から、識者の間に商工業界の利益代表者たり指導者たる所の商業會議所設立の必要を感ずるもの漸く多きを加へ、それで之れに關する協議會の開かれたのは、實に去る明治二十六年の六月六日であつた。爾後協議會の縁もかへざること數回、愈々設立することに決定し、全年の七月六日に發起人二十四名を選び、更に其中より七名の創立委員を擧げこれに創立に關する諸般の事務を委託した。即ち左の通りである。

發起人
相場直三郎、上野松次郎、高津彌平、相場常兵衛、鈴木利平、内山清三郎、田中勝次郎、相場直三郎、上野松次郎、高津彌平、伊澤清三郎、相場常兵衛、鈴木利平、内山清三郎、田中勝次郎、相場直三郎、内山清三郎、大貢清三郎、村上廣三郎、新田幸吉、増田充穂、吉田國四郎、田中勝次郎、上野松次郎、藤崎安平、角石善平、上野松次郎、高津彌平、伊澤清三郎、相場常兵衛、鈴木利平、内山清三郎、田中勝次郎、相場直三郎、内山清三郎、大貢清三郎、

設立委員
相場直三郎、内山清三郎、大貢清三郎、
藤崎安平、渡邊長吉、久保三八郎、手塚五郎平、
新田幸吉、増田充穂、吉田國四郎、田中勝次郎、
田中勝次郎、上野松次郎、藤崎安平、角石善平、
上野松次郎、高津彌平、伊澤清三郎、相場常兵衛、
鈴木利平、内山清三郎、田中勝次郎、相場直三郎、
内山清三郎、大貢清三郎、
会頭 藤崎安平、副會頭 田中勝次郎、常議員 高津彌平、
全 市田幸七 全 上野松次郎 全 大村仙助、
全 久保三八郎 全 須水信夫 全 大村仙助、
全 手塚五郎平 全 市田幸七 全 手塚五郎平、
第 二 次 (明治廿七年二月八日)
會頭 上野松次郎、副會頭 田中勝次郎、常議員 高津彌平、
全 市田幸七 全 上野松次郎 全 大村仙助、
全 久保三八郎 全 須水信夫 全 大村仙助、
總會會計任正年二月十八日補缺選舉手塚五郎平君當選の處
病氣の爲め以て即時辭任全年三月十四日更に選舉を行ひ田中
相場常兵衛より相場常議員副會頭より當選す

そこで創立委員は設立認可申請書、會員選舉規則案、設立費用の豫算額、選舉權者被選舉權者の概數等を審議決定し、發起人は之を認めて全年七月十三日を以て設立認可申請書を提出し、全年八月十二日に時の農商務大臣伯爵後藤象次郎氏から設立を認可された。

是に於て商業會議所條例施行規則第二條に據り其旨を全年八月廿日の下野關東兩新聞紙に公告し、

行發回
別一月金三錢○特
別六ヶ月以上特
別一年金八錢
宇都宮第一株式會社印
三五六

印刷所

仕切書印紙全廢意見

全國商業會議所聯合會

現行印紙稅法中改正を要するもの一にして足らずと雖も殊に賣買仕切書の解釋區々にして課稅の統一を欠き或は苛斂誅求の弊に陥りつゝあるは吾人の最も遺憾とする所なり(中略)近時往々一般的荷案内書、通知書及び金錢請求書等を以て悉く賣買仕切書と見做し印紙の貼用を強制せんとするが如きは甚だ不當の措置にして殊に甚だしさに至りては當該官吏にして一般商業家の家宅搜索を爲し以て印紙稅法の違反を檢舉せんとする事實あるは吾人の慨嘆に堪へざる所なり若し是等の事實を放任せんか實に官民の感情を背馳せしむるのみならず延いて商業上の便宜を阻礙する事甚大ならんとするものあらんとす故に吾人は此の如く煩雜にして且つ國庫收入に多大の關係なき課稅は之れを全廢して一般商業家の便宜を計り以て商業取引の發達に資せられんことを切望す。

貯金二億圓

▽下村貯金局長談

△現在の貯金額 郵便貯金は本月五日を以て預け人員一千二百二十八萬人、預金高二億七萬圓に達したり尤も此現在高は時々高低なきを保し難きも大勢は最早二億萬圓臺を下らざるべし顧みるに明治八年郵便貯金事業開始せられてより十五年百萬圓臺に上り十九年千萬圓臺に上り二十二年二千萬圓臺に上り三千萬圓臺に上りしは實に三十六年に上り明治二十二年二千萬圓の聲を聞きてより三十年六年

△日露戰役前

迄は一ヶ年の増進額平均僅に七十五萬圓に過ぎざるの狀況にありたり、然るに日露

戰役開始と共に國民貯蓄心の勃興は通貨の膨脹と相俟ち一ヶ月の増進約百萬圓を超ゆるに至り一ヶ年に千四、五百萬圓の増進を來せり當時の遞相

大浦子爵は常に貯蓄思想の涵養發達に心を用ひ日本國力、日本人の所得に比例するもせめて一億圓に上らしむるべしと語られしが當時幾星霜の後

△一億圓の貯金は早くも四十一年中に到來し爾來尙激増して止まず戊申詔書の前後を通じて益増を期せし

進し四十三年の如きは前年に比し一ヶ年に三千七百萬圓乃至明治八年以後三十七年迄三十年間に累積せる貯金額と同一額を一ヶ年にして増進するの盛況を見今や四ヶ年にして

△二億圓に達するに至れり我國富我國民の所得の増進又は先進國の實例に徴すれば前途尚遠遠なりと雖も此勢ひを以てすれば彼と比肩するの秋亦必ずしも遠しとせざるなり

郵便爲替簡易拂渡

△手形交換所に代る便法

△銀行會社商店等の福音 他より送付を受けたる郵便爲替證書を取引銀行の預金に振替ふる爲め線引讓渡を爲し又讓受銀行は之を手形交換所に提出して一般手形と同様極めて簡易なる手續に依り之が拂渡を受け多大の利便に浴しつゝあるも手形交換所の設置なき地方にありては一々爲替證書に指定せる郵便局に就くに非ざれば其拂渡を受くるを得ざりし處此度遞信省にては郵便爲替線引讓渡規則中に改正を加へ銀行が豫め所轄遞信管理局の承認を受くるときは爲替證書に指定したる拂渡郵便局の如何に拘はらず總て一定の郵便局に就き之が拂渡を受くるを得るの便法を開始し来る十一月一日より實施すると

糖價の將來

各會社の賣出しと共に非常の人氣を以て迎へられ遂には十六圓臺といふ空前の高値迄買進まれたる來期新糖も下旬(十月)には何となく變兆を呈して啻に頭間へ模様あるのみならず兎もすれば下這は五十万俵以下赤糖亦十五六万臺と決定して到底そくに傾向あり蓋し來期臺灣糖の產額豫想は分密は百五十萬俵以上と云ふもそれは畢竟の如く異數の直段を悠然として買進みたるは毫も怪しむに足らざりしも何と云つても歐洲甜菜糖の收穫が八百九十二萬噸以上に達すべき見込確實なるに加へて千九百十一年度の話菜糖の品がスレにて空飛の暴騰を演じたる瓜哇糖も近來漸落の形勢なるに南米アルゼンチンの砂糖產額は前年に比し聊か減收を見越されつゝありと云ふも其反對に玖馬糖は無慮二百万噸の豫想高にて特に千九百十二年の歐洲話菜糖は如上の通り九百万噸捌みてふ無別の大豐收間違ひなき時なれば如何に臺灣糖が大不作にせよ世界的に低落する糖價と反對の軌道を趨らんこと到底難かるべし分密の十六圓綱返へし在外正貨の補充を爲すべき筈である然らば何處まで行けば借金しないでも國の經濟は慥かに氣一杯に買進れたる觀あれば前途は漸落の歩調を辿ることなるべき歟

我國貿易上の問題

国民の大注意を要す

- 一、政府事業に要する物品等は必要止むべからざるものゝ外は成るべく外國品を使用せざるの方針を探ると
- 一、剩餘金は總て之を財源に使用せず森林基金に積立つること
- 一、官業は事情の許す限りは或るべく之を民業に移すと
- 一、鐵道經營は總て收益金を以て建設改良の資金に充て鉄道證券及び一時借入金を以てするは當分之を中止すると
- 一、如何なる名義を以つてするも増税は絶対に之を爲さゝと
- 一、在外正貨保持の方針を確立すると

時局解決に關する元老會議の前提たるべき元老大臣の會合豫記の如く十月十五日首相官邸に開かる定刻前西園寺首相以下各大臣悉く參集し間もなく大山公及び松方井上兩候の三元老前後して來會す山縣公亦た出席の筈なりしも微志の爲め小田原に靜養中なるを以て缺席せり廳て西園寺首相の挨拶に迎られ松方侯は豫て首相の手元まで提出しありし財政意見に對する説明をなして曰く

日露戰役以來歲計著しく膨脹したるが軍事費及び國債費に於ける膨脹は事情止むを得ざるものゝ存せしとするも其他の經費に於ても亦甚たしかき増加を來したる最も注意すべき事實なり斯く豫算に急激なる膨脹を來せしに伴ひ大藏證券發行亦著しき増加を來し經濟界に對する財政上の壓迫は今や日に甚だしきを加へんとし證券の發行終に不可能に及ばんとするの處あるのみならず輸入超過に加へ對からざる外債利子支拂額は正貨流出の因をなすを以て在外正貨の前途に對して是最も慎重の注意を加へざるべからず今に於て此等諸點に對し適當の方策を立てざるに於ては延いて外國の信用を失墜するに至り財界の前途洵に痛心惜く能はざるものあり

と之の冒頭の下に之が救濟の策として左の諸項を列挙し好意的態度を以て更に詳細なる説明を與へ本意見は單に自分一己の考にあらずして山縣、大山兩公を始め元老一同の同意する所なりと附説せるが其財政整理元項は左の如し

一、來年度豫算編製に對しては最も緊縮主義を

斷行し當分新事業は一切之を中止若くは綠延へ必要止むへからざるものは該緊縮せし

豫算總額内に於て彼此緩急を圖りて著手し豫算の膨脹を防ぐと

一、内外債の別なく當分公債は一切募集せざる

▲本年一月以降九月末迄の我貿易は昨年の同期に於ては已まぬであらう

△且つ我國は非常の借金國であることを記憶せねばならぬ年々外國に仕拂ふべき公私債利子は八九千萬圓但し一方に貿易以外の關係に於て外國より入るべる金額は約三千五百萬圓、朝鮮及び地内の產金額千五百萬圓を見て此二口合計五千萬圓即ち外國に仕拂ふべき公債利子と差引きて尙ほ三四

なり左れば手形交換所設置なき地方の會社商店等に於ては自己の受け取るべき爲替證書を取引銀行に線引讓渡を爲し讓受銀行は之を一併して簡易に利用せば地方に於ける銀行會社商店等も手形交換所所在地に於ると同様の利便に沿することを得べし又此便法は郵便取立金取立済通知書郵便振替貯金拂出證書及外國郵便爲替等にも準用せらる

年十二立創所議會業商宮都宇祝

石田屋洋物店

宇都宮市馬場町角

刷印版石版活版

福 田 伊 兵 衛

青木 啓八

電話 八六七番

石 製 版 社

和洋紙類各種
學校用品各種

YAMAKIYA YOHINTEN
TELE. 305 NO. 36 UTSUNOMIYA
宇都宮市馬場町

洋國各米穀

木屋洋品店

宇都宮市馬場町

諸車輪ニケル
車屬品

刷印版石版活

力電用
諸官衙御用



共三社刷印所

町條一市宮都宇

番五六三 話電

候上願文注御もと少多



年次宝
大正二年唐
日向屋
久我彌平

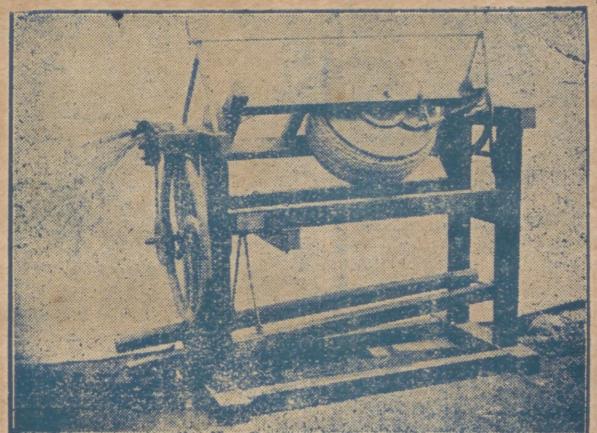
醤油
味噌
製造業

日野屋

宇都宮市宮島町

一大國益農家の副業
式宮崎繩撚機械
細太製定價卅五圓の
處當分二割引

金貳拾八圓（卽字都宮鐵）



本機にて製したる繩は丈夫にして手然に優る事數倍他に比類なき良機なり殊に輸出米俵裝太繩は最も美事に其製出高一日優に二十貫以上を超ゆ且人手を増す毎に其製出高を增加す

特約販賣所
組合員
和久井藤次郎

宇都宮市東璃田町

那須郡佐久山町

小問物
化粧品
卸問屋
店主 笠間重藏
宇都宮市大工町二十三番地
布屋號
電話 売三八番
振替口座 六六七七番
電話 五番

常陸屋商店
肥料商
久田野さく
宇都宮市本郷町
笠間重藏
電話 五番

磐城セメント株式會社
宇都宮代理店
常陸屋商店
電話三三番

宇都宮石材軌道株式會社

電話八四七番

株式會社 下野銀行

電話二一三番

電話三〇〇番

株式會社 栃木縣農工銀行

電話一三九番

乘客其他一般貨物ノ運輸
迅速叮嚀ニ取扱可申候 運輸部

株式會社 四十一銀行宇都宮支店

電話二二八番

大谷及寺澤石ノ採掘販賣

株式會社 寶積寺銀行宇都宮支店

電話三五番

油粕兩毛奧羽地方販賣代理店

株式會社 宇都宮貯蓄銀行

電話八一四番

大日本人造肥料株式會社代理店

株式會社 安田銀行宇都宮支店

電話一五〇番

關東酸曹株式會社特約店

株式會社 宇都宮銀行

電話一二三番

内外肥料 卸小賣

上野松次郎商店

電話六五三番

油粕兩毛 奧羽地方販賣代理店

宇都宮石炭商組合員

東京人造肥料株式會社製品特約店
宇都宮市大工町

伊藤出張店

電話四五九番

肥料商

一村山金平

電話長二九番

内外各種肥料 大猪俣藤吉

日光綠鶴田屋前

振替口座 七九四三番

電略(二六五番)

小野川 金太郎

電話六六三番

肥料商

同支店

電話七五〇番

櫻印完全肥料特約店

大橋 東太

電話五二五番

肥料商

戶室屋

宇都宮市杉原町

石油販賣

大塚 滉次郎

電話四一七番

砂糖商

太

宇都宮市西原町

委託賣買

渡邊作次郎

電話一二八番

肥料

太助

宇都宮市西原町

委託賣買

高橋 定平

電話五三〇番

洋傘洋品化粧品類

村上 濱吉

電話四一七番

吳服太物類

黑崎 正次郎

電話一二八番

宇都宮市本郷町

坂本彌吾

電話一二八番

上野吳服店

麻袋十瓢穀類

金錢貸附

下野產業株式會社

電話一〇番乙

年十二立創所議會業商宮都宇祝

年十二立創所議會業商宮都宇祝

年十二立創會業商宮都宇祝

年十二立創會業商宮都宇祝

小間物袋物
化粧品組紐卸商
文房具各種

宇都宮市日野町

營業種目
海產物、塙干魚、乾物、果實
號和泉屋

今井佐吉商店

電話四二八番
振替口座第一八〇五五

貨物、保管、荷爲替取組
委託販賣、貨物貸附金

村上廣三郎
電話四三
電界ハリキ

宇都宮市本郷町
肥料商福田恒吉
電話三〇一番



下野倉庫株式會社

商品委託販賣
倉庫業
合青木芳三郎
電話一二〇番
電界カ一六番

宇都宮市日野町
號都賀屋 篠崎安平
同 大町(肴町通)

洋製麵包菓子
宇都宮市江野町
富貴堂本店

福田富次郎
電話一四一
振替東京二三二五九番

肥料商合河合長藏
宇都宮市今小路町
電話一一〇番
電界カ一六番

宇都宮市川向町
篠崎賣場
同 大町(肴町通)
廉價販賣

宇都宮市大工町
吳服店
長電話二二二番

花材木商浪花清吉
宇都宮市今小路町
電話三二二番

清酒醸造業馬場俵八
宇都宮市宮島町
電話一一一

内外肥料

米雜穀委託賣買

諸水油製造業

天手塚豊吉

宇都宮市石町九百拾六番地
電話四十四番
振替日座東京一五六七三番

清酒醸造業馬場俵八
宇都宮市宿鄉町(八日市場)
電話五五一

余佐野常吳服店

藥劑師小松利三郎
電話四四一
振替一六四四九番

酒山
酿造元宇都宮市傳馬町
浪花屋號
電話二二〇七
電界又(ナニ)

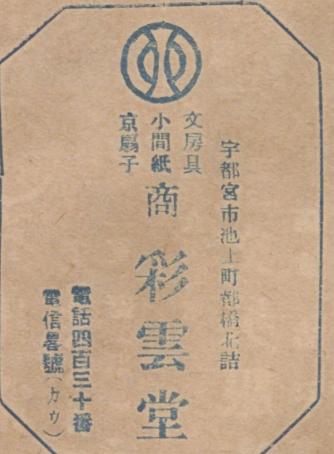
宇都宮市大町
電話十五番

宇都宮市大工町

宇都宮市日野町

年十二立創所議會業商宮都宇祝

年十二立創所議會業商宮都宇祝



各國產紙卸商
金扇子
電話三三二番

中田商店

銅鐵商會 須田彌兵衛
土丹野 小間紙類 筆墨類一式
電話三三〇番



電話六五三番
振替口座一六八四

京扇子
小間紙商
電話四百三十九番
電信局號(カウ)

日野屋吳服店
宇都宮市傳馬町
電話三三九番

第十四師團宇都宮偕行社
消費組合指定特約店

利根川屋
宇都宮市杉原町
椅子販賣
家具販賣
電話三一七番

書肆 内田濱吉
宇都宮市馬場町
帽子製造洋物各種
宇都宮市杉原町八番地
電話四三二番
振替八三七番
三五三五番

合 奥津喜平
宇都宮市杉原町
篭 鐵瓶類 金物一式
電話三一〇番

建築木請負業 梶倉藏
宇都宮市大町
椅子販賣
家具販賣
電話四一二番

書肆 煙平堂分舗
宇都宮市鐵砲町角
宇都宮市馬場町
正丸引ナシ
宇都宮市馬場町
電話四三二番
振替八三七番
三五三五番

銅鐵打刃物
釜鍋鐵瓶類 金物一式

宇都宮市杉原町
建築木請負業 梶倉藏
宇都宮市大町
椅子販賣
家具販賣
電話四一二番

第十四師團宇都宮偕行社
消費組合指定特約店

電燈供給
宇都宮市

供給地
上都賀郡 日光町、今市町、鹿沼町
下都賀郡 栃木町
河内郡 豊郷村、國本村、姿川村
城山村

電器オーナヤ
電話二百二十五番

銘菊の友釀造元
半田屋號
吉田源吉郎

宇都宮市新石町四番地
電話八一二番
四二五番

下野電力株式會社

宇都宮市杉原町
電話二十番

一陸軍御用達
一諸官衙物品販賣
一室內裝飾用品一式
一土木建築



株式會社

宇都宮商會
宇都宮市新石町四番地
電話四二五番

下野大谷石材合資會社
宇都宮市新石町十三番地
電話一二六番

旅館白木屋本店
宇都宮市傳馬町
電話一三二番
市停車場前
白木屋 ホテル
電話一一六番

宇都宮市傳馬町

年十二立創所議會業商宮都宇祝

報月所議會業商宮都宇

第百三十一號

『一一』 日十月一十年元正大

御注文ニ應ジ取付其他点燈迄一切請負可申候御
一報次第店員出張萬事御協議可申候



本
石材
問屋
坂
仲
(電話四〇八番)

光力電燈より光強し

アセチリン瓦斯
并光料
光料
其他機具一式
(毫モナシ)
石油ニ優
事百倍
危險ノ虞



株式
會社
宇都宮銀行
(電話六〇〇番)

足尾出張所
(下野國足尾町
電話八〇番)

●諸貨附、割引、爲替、荷爲替、代金取立
●総テ精々御便利ニ取扱可申候

矢噶のルーホヤービ 下縣
軒 笠 三 軒 笠 三
壹品十三枝均一
番九三六話電 町師曲市官都宇
生ビール牛乳
和洋酒類
スマリあ堂食喜好空眺

大谷石材販賣

宇都宮市川向町停車場前
大谷石商會

〔廣告〕



合名 安田銀行
會社 宇都宮支店
(電話百五十番)

一、資本金 壹千萬圓 (全額拂込済)
參千貳百貳拾八萬五千貳百圓餘
一、本店所在地 日本橋區小舟町三丁目九番地
一、支店出張所 貳拾壹ヶ所
一、各地送金 無手數料

諸預金

砂糖、石油、紙類、疊表賣

石炭、メシト、壁用品二式

圓万百貳金本資



株式 下野銀行
會社 東京支店 (東京市日本橋區横山町二丁目
電話浪花一八二二番)

日光支店 (下野國日光町
電話二〇番)
新石町支店 (宇都宮市新石町
電話四三〇番)

眞岡支店 (下野國眞岡町
電話二二三番)

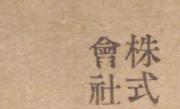
足尾支店 (下野國足尾町
電話一二番)

材木町支店 (宇都宮市材木町
電話四五〇番)

本
石材
問屋
坂
仲
(電話四〇八番)

光力電燈より光強し

アセチリン瓦斯
並光料
光料
其他機具一式
(毫モナシ)
石油ニ優
事百倍
危險ノ虞



株式
會社
宇都宮銀行
(電話六〇〇番)

足尾出張所
(下野國足尾町
電話八〇番)

●諸貨附、割引、爲替、荷爲替、代金取立
●総テ精々御便利ニ取扱可申候

輸出
木綿
縮製

同
町向店

今
辻
由
兵
衛
駁卸專業部

電略(ツジニハ)ニ五
雷略(ツジニハ)ニ二

宇都宮市大工町
佐野屋

舍藤枝秀吉

電略(ツジニハ)ニ五
雷略(ツジニハ)ニ二

宇都宮市大工町
佐野屋

森
大
森
勝
之
助
石
油
製
粉
砂
糖
紙
商

電略(ツジニハ)ニ四
電略(ヤマモリ)

宇都宮市旭町二丁目
宇都宮市旭町二丁目

内省御用特品
木板
宇都宮市特產
木板
宇都宮市上河原町
田原屋
森
大
森
勝
之
助
石
油
製
粉
砂
糖
紙
商

明治四拾八年宇都宮工藝品評會二等賞受領
聯合其進會賜三等賞明治四拾八年九月十二日東宮殿下賜人際賜御賞上
光榮明治四十一年十月七日群馬縣上
催一府十四縣聯合共進會ニ於テ宮內
省御用品トシラ御買上光榮ヲ賜ハル

由田筆
藏

陶器
商店
中島屋號
宇都宮市上河原町
中島屋號
宇都宮市上河原町
中島屋號

醤油
中近
犬丸出店
命
小林鎌次
石
油
商店

宇都宮市川向町六五三番地
宇都宮市川向町六五三番地
宇都宮市川向町六五三番地
宇都宮市川向町六五三番地

醤油
中近
犬丸出店
命
小林鎌次
石
油
商店

宇都宮市今小路町
宇都宮市今小路町
宇都宮市今小路町
宇都宮市今小路町

醤油
中近
犬丸出店
命
小林鎌次
石
油
商店

宇都宮市今小路町
宇都宮市今小路町
宇都宮市今小路町
宇都宮市今小路町

時計商行
石田常造
宇都宮市大工町
電略(ツジニハ)ニ二
番

呂都宮市今泉町
日清製粉株式會社
清宇都宮工場

美家染中形及裏地製造販賣
宇都宮市寺町四番地
株式家滿祿商店
電略(ツジニハ)ニ三九
振替口座一五三九二



菊の友は原料を
精撰し學理を應
用し最も斬新な
る釀造方法にし
て芳香佳味且つ
廉價なり江湖の
諸君奮て御試用
あらん事を乞ふ



下野倉庫株式會社

宇都宮市川向町

電話 一四八番

貨物、保管、荷爲替取組

關澤商店



▲宇都宮市の中二荒山神社の坂下ゆへ

土産物御求まは至極便利であり升

▲獨立の勧場にて市中無類第一層の廉

價正札附に致してあり升

▲流行品は他店に魁くるは申す迄もな

く花客様にて御承

知の筈てあり升

▲品が善く

て直が安

く有こそ有

ゆる品は

取揃てあ

りす

牛、肉の原料は有名なる神
戸米澤豚肉は海外より
種の者を選み品質精撰價特
に缺ざる日常食品の親玉

格低廉衛生經濟富國強兵

可なら日常食品の親玉

内外各種肥料 天手塚 豊吉

○大坂硫曹株式會社製品特約賣販 ○各種取扱へ之有候ニ付御用命奉願上候
○見本ハ御一報次第早速御送リ可申上候

宇都宮市上河原町

電話二〇七番
電略(ホウ)



番七百六 番二百二 話電

金參拾萬商標登録
株式會社寶積寺銀行宇都宮支店

別當段座期預金	定年	日步	九五	分
宇都宮市	日	步	一	錢厘
大工町	步	一	五	番地

東京府北半住中組五八五番地
電話下谷一八八三番

本店 宇都宮市宿郷町三番地
支店 東京府北半住中組五八五番地
電話二〇七番
電略(ホウ)

營業種目

藥品賣理化學器械
寫真器械附屬一式
コンデンスマイルク特約店木村作次郎
木村支店
市馬場町
日光中鉢石町電話一七番海陸產肥料各種
入山石炭名驛一手販賣宇都宮市石町
針屋
村上濱吉
電話三三番

コークス、コールタル(宇都宮瓦斯)特約販賣

電力應用
活版印
石版印
寫真版刷
コロタイプ
市都宮前警察署
社共三番電話五十六百三和紙卸商上油屋紙店
洋紙相馬直五郎肥料麻苧
藍貞細宇都宮市木郷町廿八番地
商號久喜屋福田恒吉
電話三〇六〇
電略クキヤ又ハキ諸建築木材供給受負
諸木材廉價販賣
戶障子
諸建築工事請負業

業務擴張ノ爲從來ノ建具類賣場狹隘ヲ感シ者町通ニ移轉仕候條

陸續御用命奉願候

宇都宮市日寺町
會都賀屋本茂店
絹條崎安平

電話三八番

毎月定期金三五

郵便

金五

銀

人

印

印

人

秋

山

錦

次

郎

姓